

# 仏教勉強会のご案内

「仏教に興味がある」「写経や写仏をやってみたい」「大松院にお参りしてみたい」という方はどうぞお気軽にご参加ください。

◇日時 月1回 日曜日 午前10時半〜12時

◇場所 大松院 さいたま市浦和区東高砂町19-4

◇問合わせ先 大松院 担当 小林智観 ☎048-882-9205

- 2月11日 「写経」
- 3月10日 「お釈迦様の言葉を読む」
- 4月7日 「お釈迦様の言葉を読む」
- 5月12日 「写仏」
- 7月7日 「お釈迦様の言葉を読む」

※個別の写経、写仏も随時受け付けております。ご希望の方は、大松院までご連絡ください。  
※初めてご参加される方は、右記 問い合わせ先の電話番号までご連絡ください。



# ご法事に用意するものについて

ご法事をお勤めする際に、お飾りするものを事前にご連絡しております。特に「お位牌」と「お写真」は故人を偲ぶ上で、大切なものです。ご自宅にお祀りしてある方は、必ずお持ちいただきませうようお願い申し上げます。  
また、事情があつてお位牌を作っていないご家庭の方には、ご希望があれば大松院副住職がお書きすることもできます。詳しくは、霊園管理事務所までお問い合わせください。



# もしもの時は…

もし、大切なご家族にご不幸があつた時は、まず霊園管理事務所にご相談ください。ご葬儀の手配やご葬儀後の手続きなどについてご案内致します。また、生前戒名のご希望や、葬儀は俗名で行つたが、戒名を授けたいなど、ご供養に関するお問い合わせも受け付けております。まずは、お気軽にご相談ください。



# 浦和霊園だより

VOL. 29

令和5年12月号

TEL 048-812-1121

FAX 048-878-7272

編集者

副住職 三浦清志

# ご挨拶



大松院前住職  
片岡智鶴

みなさま こんにちは。早いもので、もうすぐ令和五年も終わろうとしております。今年を振り返ってみますと、世界では戦争続きでした。ウクライナとロシアの戦争だけにとどまらず、イスラエルとガザの間でも戦闘が繰り返されました。仏教を信仰するものとして、これ以上悲しく、残念なことはありません。一日も早い終結を望んでおります。

日本ではおかげさまで、いろいろなことがありながらも、平和な国で過ごすことが出来ております。有難いことでありますし、感謝して日々を過ごさなくてはと、改めて感じる次第です。浦和霊園の方々は、本当によく墓参に見えられていると思います。そこには、亡くされた大切な方への思いと



大松院新住職  
小林智観

みなさま こんにちは。この度、大松院住職を拝命いたしました、小林智観と申します。こ

感謝の念があるからだと思えます。これからも、そのような心を大切にしていきたいと思います。霊園として運営してまいりたいと存じます。私もできる限り、霊園には足を運びたいと存じます。見かけたときには、どうぞお声がけください。皆様にとつて、来年が良い一年になりますことを心からご祈念いたしました。ご挨拶とさせていただきます。

合掌

# 令和6年行事予定

- 節分豆まき式  
1月28日(日)  
11時 14時
- 合同慰霊祭  
8月13日(土)  
11時
- 送り火の夕べ  
8月15日(木)  
17時半

# 令和6年回忌表

1周忌	令和5年
3回忌	令和4年
7回忌	平成30年
13回忌	平成24年
17回忌	平成20年
23回忌	平成14年
27回忌	平成10年
33回忌	平成4年
50回忌	昭和50年



↑浦和霊園公式HP



↑大松院Facebookページ

れまでも副住職として、本院 大松院を中心に年中行事、佛教勉強会などを通じて皆様とお会いさせて頂いておりました。今般、父片岡住職より寺を継承することとなり、身が引き締まる思いです。浦和霊園は、開園以来、皆さまとの心の交流を大切に、節分 豆まき式、お盆 送り火の夕べを通じて、先祖供養の心を皆様と一緒に培ってまいりました。これからも、この精神を大切に継承し、お参りの絶えない、心の拠り所となるような霊園を目指して精進してまいりたいと存じます。浅学非才にて、至らないところも多々あるかと存じますが、霊園の発展のために尽力する所存です。皆様におかれましては、今後とも引き続き、よろしくお願ひ申し上げます。

合掌

# 暮らしの中の仏教用語

## 「邪魔」(じやま)

現代では、「じやまもの」や「じやまが入る」などと使います。また、誰かの自宅などを訪れるときに「お邪魔します」とお詫びの意味で使うときもあります。本来は、悟りを妨げる悪魔のことを指します。お釈迦様は、ご自身のさとりを開く前に、やはりこの悪魔によっていわゆる「じやま」をされました。



悪魔は元々インドで「マール」と呼ばれました。中国で音写するときに「魔」という字が新たに作られ、「魔羅」という字が当てられました。

# お盆合同慰霊祭& 送り火の夕べ ご報告

毎年、恒例になっております、お盆 合同慰霊祭と送り火の夕べを、開催いたしました。合同慰霊祭につきましては、七月十三日に六霊、八月十三日に三十一霊の方をご回向させていただきました。お盆を迎えるにあたり新盆の方や毎年供養されている方がいらつしやいます。一年に一度大切な家族が家に帰ってくる。その時にご供養しようという方々で、とても心温まる



令和5年の送り火の夕べ お焚き上げ

ご供養ができたと思います。送り火の夕べにつきましては、あの世にお帰りになる、御霊を皆さんと一緒に送り送ります。かつては、精霊流しと言って、灯籠を

川に流した時代もありましたが、昨今は、環境にも配慮して、霊園の駐車場にてお焚き上げの火をもつてお送りしております。今回も八月十五日の夕方、大勢の方々と共に、送り火のお勤めをすることができました。心から御礼申し上げます。改めてこのような行事が続けられていることに、感謝するとともに、ご供養の心が御霊に届いていることを願いつつ、今回のご報告とさせていただきます。まだ、ご参加されたことのない方は、ぜひ一度足をお運びください。きつと違ったお盆のご供養になることと思いません。

合掌  
三浦清志 記

## 十三仏について ④

この記事では、十三仏の仏さまについて述べております。十三仏とは、死者が十三の仏さまによって、初七日忌から三十三回忌まで仏さまの色々な教えを学び、成仏していく考え方に基づいてお話しています。参考になれば幸いです。



十三仏

## 【四七日忌 普賢菩薩】

前回、文殊菩薩の回では、仏教に大切な智慧について、述べさせていただきました。もう一つ、仏教で大切にしていることがあります。それは「慈悲」ということです。今回の普賢菩薩は、慈悲の仏さまであるといえます。なぜ、慈悲の仏さまなのか？について見てまいりましょう。この仏さまには「普賢の行願」と言っており、私たち凡人が仏さまに成る行を勧め、その願いを全てもつておられます。

一、諸仏を敬うこと。二、仏の恩徳を讃えること。三、悪業を懺悔すること。四、供養を施すこと。五、仏の功徳を喜ぶこと。六、仏の教えを乞うこと。七、仏の永世を願うこと。八、仏に学ぶこと。九、衆生を利益すること。十、広く仏に回向すること。以上、十の願いを示されています。非常に広く、強い願いですね。



普賢菩薩

多くの衆生（生きとし生けるものすべて）の悩み、苦しみが尽きるまで、そのご誓願を捨

てないと決められております。これこそ、まさに慈悲の仏さまであるといえるでしょう。ちなみに慈悲とは「人の苦しみを取り除き、樂を与える」ということです。慈悲の心を持つことこそ、今の世の中に必要な事ではないでしょうか？（次回 五七日忌 地藏菩薩へ続く）

## 節分豆まき式のご案内

毎年恒例となっております「節分豆まき式」を執り行います。今年から2部制にして行うことといたしました。一年に一度、霊園での楽しい行事に、大勢の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

記

- ◆日時 令和5年1月28日（日）
- ①午前11時より
- ②午後2時より
- ◆場所 浦和霊園会館2階 礼拝堂
- ◆申込 霊園管理事務所

☎ 048-812-1121

FAX 048-878-7272

◆参加費 一世帯あたり金三千元（お持ち帰り用の福豆もご用意しております）

※別紙 申込書を同封しております。そちらの要項をご確認いただき、お電話、又はFAXにてお申し込みください。※参加費は、開催当日のお支払いも承ります。

※一つの回に申込が集中した場合、ほかの回への振替をお願いすることがあります。

※感染症拡大などにより、開催内容を変更、又は中止することもございます。予めご了承ください。

## 年男・年女の方 厄年にあたる方

○男性 4・1925・3342・61歳の方  
○女性 4・1925・3342・61歳の方  
※各年齢の前後に、前厄、後厄があります



## 寶頭龍馬菩薩をお参りしましょう

霊園の中央の通路を行きますと、観音様のお使いである「寶頭龍馬菩薩」様が、すぐ右手に見えます。いつも皆様のお墓を見守り、またご家族の方の安寧を願っていらつしやる仏さまです。お参りの際には、まず菩薩様にお参りして、ご先祖様の供養を願い、それから各々のお家の墓所をお参りしましょう。



寶頭龍馬菩薩

## 「詠歌の仲間募集中！」

ご先祖様の供養のために、また、ご自身の信仰を深めるために、ご詠歌をお唱えしてみませんか？現在、月に一度 本院 大松院にて練習会をしています。ご希望の方があれば、霊園でも開催したいと考えています。興味ある方は、一度聞いただけでも結構です。お気軽にお問い合わせください。

◇問い合わせ先 管理事務所

担当 三浦清志

☎048-812-1121

